



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」 ～逞しく拡大を続ける長崎同友会 会勢600名を達成しよう!～

青年経営者会「第28回春一番！ハタあげ大会」

日 時：3月21日 9時30分

会 場：唐八景

報告者：井口 達宣



青年経営者会3月例会として恒例の「春一番ハタ上げ大会」を3月21日（春分の日）に唐八景にて開催しました。

今年で28回を迎え、先輩達が繋いできた伝統行事を絶やすことなく、青年経営者会メンバー協力して開催することができました。今回は昨年のもともふまえ、雨天時の対策もしっかり議論し、諫早市こどもの城への視察もしておりました。当日は晴れ男のせいか、晴天に恵まれ心地よい春の風が吹き、絶好のハタあげ日和となりました。

今年は金、土、日の3連休となるため、マリア園は旅行行事で不参加となりましたが、浦上養育院、明星



園の子供たちを招待して行ないました。

ハタあげのハタは毎年小川ハタ店に協力していただき、事前に園の子供たちにハタを渡して皆思い思いのイラストを書いて揚げるということで、上手に揚げる子もいれば、なかなか上手く揚げられない子など、小川ハタ店のお仲間の方々からやさしく指導いただきました。まるで祖父から孫へ伝統文化を伝えてもらってるようでした。参加した青年経営者会メンバーも子供たちと仲良く遊び、楽しく過ごせたと思います。長崎の伝統文化ハタあげですが、やってみると楽しい遊びだと思いました。伝統文化として受け継がれているのもうなずけます。

子供たちが楽しそうな笑い声をあげながらハタを揚げている光景や、青経メンバーの子供と親父さんが仲良くハタを揚げている姿を見ると本当にやってよかつ

目次

青年経営者会「第28回春一番！ハタあげ大会」・・・1	新入会員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
第44回中小企業問題全国研究集会参加報告・・・2	事務局企業訪問～自分が思う経営者像とは～・・・9
3月例会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3	5月例会案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
中同協2014年度第2回政策委員会参加報告・・・8	理事会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
委員会活動一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8	会員消息・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

たと実感いたしました。

毎回、皆楽しみの豚汁を作っていただける林会員、晴天の光を浴びながら外で食べたら格別おいしい岩崎会員のお弁当、いつも感謝しております。

お昼からのクイズ大会と綱引き大会のレクリエーション也大賑わいでした。

これも皆様の協力があってこそできた事と思います。協力していただいた方々、心から感謝御礼申し上げます。

●青経参加

西村繁彦・山口善也・吉川憂也・橋本裕次郎・山口憲男・鹿島啓介・大久保誠・飛田精一・池田義徳・北川亮

●実行委員長

井口 達宣

●浦上養育院 26 名・明星園 17 名

中同協 第44回 中小企業問題全国研究集会 in Hiroshima 参加報告

第1分科会

時代認識を高めるために アベノミクスの真相と日本の将来

同志社大学 大学院 ビジネス研究科 教授 浜 矩子 氏

長崎支部出島地区会 濱田 利夫

アベノミクスは何のミクスでもない。理由は2つある。①人間が不在である政策体系、②グローバル時代状況への非親和性。

①の理由 出発点(土台として共有)そもそも経済活動とは人間の営みに外ならない。経済活動は人間のみのものであり、人間であることと経済活動は表裏一体である。人間をないがしろにしていないか？経済とは人間を痛めつけることか？例えばブラック企業という言葉、人間をいじめる経営を経済活動と言ってはいけない。政府の政策は人を大切にしていない。

②の理由 成長戦略は富国強兵であり、グローバル時代との親和性が悪い。グローバル時代とは？住んでいる場所をグローバルジャングルを共有している住人とすると、だれも一人では生きていけない場所であり、共生のエコロジーの生態系が確立されてなければならない。じゃあどうするか？①かかげるべき合言葉は？

②目指すべき場所は？

①シェア（市場占有という奪い合い）からシェア（分かち合い）へ。

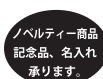
②多様性と包摂性（抱きとめる力）が会合う場所。

日本は豊かさの中に格差という貧困問題を抱えており、これを解決しデフレから脱却するには包摂性を高めること。ソーシャルビジネス（社会的企業）となるために、地域に密着し脱貧困。地域という小宇宙に力を！

それには所得税・法人税の累進度を上げる。日本政府は財政状況の悪化を放置してきた。民間企業の大黒字で政府の大赤字を相殺してきた。日本の経常収支は赤字になってしまった。これ以上日本を成長させるにはドーピングしかないが、その必要はない。自分だけ勝ち組になろうとして、突っ走る必要はない。昔は貧しくても幸せ感があったことを忘れてはならない。という内容でした。浜さんのテレビでの印象とは大きく異なり、出る杭を打たず多様性を受け入れ、分かち合う包摂性を高めることが世界と調和する日本となれる道であり、ブータンのようなイメージを持ちました。

同友会は中小企業に光を当てる、人を活かす経営を目指している集団であり相通じる部分がありました。

オリジナルスマートフォンカバー製作します!!



TIC

Toin Innovation Communicator



有限
会社

東洋印刷所

〒850-0862 長崎市出島町 15-15

TEL:095(821)1002 FAX:095(820)1957

http://www.toyoinsatsu.com E-mail:toin@orange.ocn.ne.jp

V・ファーレン長崎



応援マット

ダスキン栄進 電話 823-7633

山口 善也 会員（長崎支部 浦上地区会）

瀧川 隆 会員（長崎支部 出島地区会）

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	3月18日(火) 午後6時
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「母子家庭だからこそ起業しました」 ～同友会に支えられて～
報 告 者	(株)スマイル 代表取締役 今林 京子 会員(佐世保支部)



波乱万丈の人生。女性として生まれ、男性不信。暴力を受け尚、男性を信じること、夫を信じることさえ出来ない結婚生活。子供が産まれて離婚される。男の人に絶対負けない、頼らない、強い気持ちで子どもと一緒に生きていく。

営業として保育園に子供を預けて働き、年収600万円以上を得る男性に負けないトップ営業マンとなられる。仕事の関係でまたしても男性より裏切りを受ける。独立しよう。将来、片腕となる人と出会い独立して今の会社のスマイルを起業される。

順調な経営としてスタートした会社。しかし、詐欺的な経営指導で多額の負債を抱えることとなった。同友会に入会されて、色々な人との出会い経営力、人間力そして社員教育を学ぶ。男性からの裏切りだけではなかった。出会う人出会う人が彼女を助けてくれた。子供と一緒に生きてきて彼女にとって同友

会の存在は大きな意味を成したと思う。

心に残った言葉がある。「社長が変われば、社員が変わり会社が変わる。」自分自身の今までの人生を今回振り返り、例会の報告をされたこと、貴重な経験として同友会の素晴らしさを改めて実感されたことだろう。継承問題にも触れられた。自分の後継者は子供や身内という意見が多い中でそれに関しては断言されなかった。

彼女は5年後、経営から離れて人の為、世の為になる資格を取得しコーチング、カウンセリングを役立てた仕事に就きたいという。

九州の中心部で彼女の輝く笑顔と姿が見えるようだ。

今回の他支部間の交流で実現した例会報告でこれからも活発に交流を深め同友会の良さ、素晴らしさを持って仲間づくりに活かしていきたいと思う。

(文責 西山 展司)



長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	3月26日(水) 午後6時
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「日本でいちばん大切にしたい会社」から学んだ「経営理念」それを活かす「共育」
報 告 者	しんかん社会保険労務士事務所 所長 西山 浩之 会員



社員の「持ち味」の見える化を推進し、「共育」の第1歩として「持ち味カード」の普及に努める西山さんに経営体験報告を行っていただきました。

報告では、社労士の業務説明から始まり、労務管理だけでは解決できない社内問題の糸口を、法政大学の坂本光司氏の著書「日本でいちばん大切にしたい会社」から人本経営（人を大切に経営）の重要性に気づき、「会社を良くして

いく」＝「社内の人材を人財に変える」為にも、社員の「持ち味」をよく知らなければならぬ。そのツールとして「持ち味カード」や「いい会社カード」を紹介していただいた。

ディスカッションのテーマは「あなたの今一番の経営課題は何ですか？」これは来期の例会を運営するうえで大きなヒントに繋がる良い討論になったと思います。

質疑応答は出島地区会例会で初めての試みで、佐世保支部が行っている（座長が質問を問い掛け報告者が答える）方法を採用し、会員からも好評で今後の参考になったと思います。

私は自営業を始め23年になりますが、社労士を利用したことがありません。そして、未だに経営指針は完成せず就業規則さえ会社に存在していないのです。これは経営に対して無知と無責任の表れであり恥ずかしく思います。会社の利益を守り経営を継続する事と社員と社員の家族の生活を守り働きやすい環境を作る事はイコールであり、経営者としての責任だと改めて

感じました。日本の九割が中小企業であり、中小企業の発展が日本の発展に繋がります。その為にも同友会での学びを「実践」する事が大切です。

例会終了時には＜2014年度例会企画アンケート＞の記入をお願いし参加者全員からアンケートを回収することが出来ました。このアンケート結果を参考に来期も良い例会が実施できることでしょう。

年度末で多忙な時期での例会でしたが、懇親会では会場のマイクを活用し企業PRの時間を設けました。多くの会員から自社のサービスや同友会価格の提案などが紹介され有意義な懇親会が行えたと思います。

最後に、税理士を利用する中小企業が九割に対し社労士を利用する中小企業は三割に満たないそうです。魅力ある商品やサービスを提供することで、まだまだ

伸びしろのある業種として期待できそうです。

(文責 山口 憲男)



大村支部 例会報告

日 時	3月20日(木) 午後7時
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	「銀行から見た中小企業と地域経済」
報 告 者	大村市銀行協会 会長 親和銀行 大村支店 支店長 北川 隆幸 氏



親和銀行大村支店の支店長であり、大村市銀行協会会長も務めておいでの、北川隆幸さんをお招きしての3月例会は、他支部参加者や数人のオブザーバーを交えて、いつもより大きな会場で開催されました。

大村勤務の三年間で22キロものダイエットに成功し、まだまだ現在進行中という同氏は、それでも巨漢といえるほどの存在感で、すべて個人的見解であるとしながらも、普段聞けないような興味深いお話しをしてくださいました。

金融円滑化法の期限が切れた今も柔軟に対応している、リスクをとってでも起業家に投資したい、融資に当たってこれまでのペーパーベースでの判断基準から脱却し、経営者の人間性や経営実態で判断したい、等のお話しからは、北川さんの熱いお人柄が垣間見える

ようでした。

グループディスカッションは「あなたの会社に10億円融資できると判断されました。何に使いますか？」というワクワクするようなテーマで行われました。夢があふれるようなものや、現実的なもの、さまざまな意見が交わされ、各グループとも大いに盛り上がったようです。私のグループでは、人を見るというのが現実とは違う、理想論である、雨の日に傘を取り上げるではないか、といった恨み節も飛び出し、さらに白熱した議論となりました。

質疑応答では、大村の良いところは物流の拠点であり全国的に見ても稀有な場所である、しかしその利点を生かしきれない悪いところとして、経営者のプレゼンテーション能力不足、城下町特有ののんびり感が抜けきれていないのではないかと、少々耳の痛いお話もあり、身につまされる思いがしました。

最後に、4月に転勤されるという諫早支店でのご活躍を祈念しての閉会となりました。銀行、経営者双方の本音が交わされる有意義な例会であったと思います。

(文責 西 隆治)



諫早支部 例会報告

日 時	3月25日(火) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	「社長！悩まないで、迷わないで、同友会で学びましょう」 ～同友会活動から得た学びと気づきの実践報告～
報 告 者	(株)ヤマハマリン西九州 代表取締役 吉澤 健 会員 (長崎支部 浦上地区会)



諫早支部3月の例会は、長崎支部浦上地区会会員の吉澤健さんを招き、「社長！、悩まないで、迷わないで、同友会で学びましょう」～同友会活動から得た学びと気づきの実践報告～という、私たちの足元を明るく照らしていただけるような報告でした。

吉澤さんは、平成21年9月にトップセールスマン街道を歩んでいたヤマハ発動機を退社、10月に現会社に入社、11月には代表取締役に就任し、53歳からの新たな一步を踏み出す訳ですが、優秀な選手であっても、優秀な指導者にはなりえない的な事態に遭遇します。自論でもって営業を推し進めていたある営業会議中の事、若手社員からあなたの考えにはついて

いけないと退職願いを提出され、自分の考えや行動に行き詰まりを感じた頃に同友会と出会い、同友会の三つの目的を知った時に経営者としてのやるべき事が見え、それを素直に受け入れて実践するようにやり始めて全てが良い方向へ向かい始めたそうです。

所属支部の例会はさることながら、他支部や他県の例会、全国行事等の様々な会に出席されて、自分自身の気づきと学びの機会を増やし、それを即実行しているようで、そのことにより更に会社のプラスアルファに繋がったと報告いただきました。

今月の例会には、「同友会を愛してしまった！」と豪語する吉澤さんの報告を聞きたいと、佐世保支部、島原支部、長崎支部浦上地区会より総数10名、オブザーバー5名にも参加していただき、盛会のうちに終了いたしました。

最後に、今後もこのような支部間交流を推進していきたいね！という声があちこちから聞こえてきました。

(文責 前田 義幸)



島原支部 例会報告

日 時	3月20日(木) 午後2時
会 場	ナサ工業(株)
テ ー マ	「お客様の満足・喜び・感動の為に」
報 告 者	ナサ工業(株) 代表取締役 長澤 貢多 氏

今回は移動例会という事で福岡の鋼板加工業を軸に経営をされているナサ工業株式会社にて代表取締役であられる長澤貢多さんの報告、そして工場見学をさせていただきました。

報告の内容は、鋼板加工業という業態を見てみると競合他社は五万と存在するとのことでした。その中でナサ工業株式会社の強みとは、ある商品の製造だけを請負うという事ではなく、ナサ工業株式会社だから出

来ること(デザインの提案・構造・安全性や経年劣化等に対して受注先へのフィードバック)を行いながらプロジェクトを進めていらっしゃるところでした。

受注側になって考えると、伝えた事をやってくれる



業者さんは、それこそ五万といらっしゃると思います。開発途中の段階で受注者が完璧な図面やイメージを持っているという事は考えにくいだろうと。(受注先がそう思っているとしても絶対にそれがベストという事は少ない) そういった中でナサ工業株式会社の持つ専門的経験や感性をもって受注側にフィードバックを行いながら受注者と共に商品を創り上げていく。これがナサ工業株式会社の付加価値であり、強みのなのだろうと感じました。

実際に工場見学をさせていただき、強く感じたことは、整理整頓と挨拶が徹底されていました。言葉で言う事は簡単ですが実際に現場レベルにまで共通の意識が浸透していて本当に驚かされました。社員さんが自分達で考えた工場内の効率化のアイディア等も社員さん自ら説明していただいたりと、会社全体で同じ方向を向いて活動されているということが非常に印象に残りました。

最後に長澤貢多さんが『まだまだ、私たちも試行錯誤で途中の段階なのでまたお越しく下さい、次はもっと変わっています』とおっしゃっておられました。やはり良い会社とは変化し続けるという意識を自然体で持たれているのだと強く感じました。

(文責 横田 健)



佐世保支部 例会報告

日 時	3月19日(水) 午後6時30分
会 場	グランドファーストイン佐世保
テ ー マ	「私の選んだ人生。」 ～私の居心地が一番良いのは、障がい者の笑顔の中～
報 告 者	特定非営利活動法人バイタルフレンド マザーワート理事長 横石 たまき 会員



今回の例会報告者は、特定非営利活動法人バイタルフレンド「マザーワート」理事長の横石たまきさんです。もちろん同友会佐世保支部の会員さんです。「マザーワート」は、佐世保市小舟町に本部を置き、パン、お菓子製造を通して障がい者に就労、生活自立を指導する施設です。今から21年前、三人目のご子息が誕生予定の4日前、ご主人が突然事故で亡くなりました。その後、女手ひとつ、三人のご子息を、福祉事業を起業しながら育てられました。

報告は二十数年前の話から始まりました。ご主人の事故報告を警察からの電話で知り、しばらくは涙、涙の毎日を過ごした。出産後、勤めていた福祉施設で泣いていた横石さんの傍に、利用者(障がい者)の女の子が来ていつも慰めてくれた。そのときの居心地のよさが原動力になり、その後訪れてくるさまざまな困難

に立ち向かい施設を立ち上げていくお話です。

例会には、長男、三男、職員さん合わせて15名のオブザーバー参加もありました。今日の横石さんの報告を聞いて一番心に感じたのは、この中小企業家同友会の理念、目的と同じように、横石さんが起業されたとき明確な理念(居心地よく想ってもらえるように今を一生懸命に生きよう!)があり、その理念を自ら動き、職員の方々に伝えてきたからこそ、今、素晴らしい福祉施設に成長されたと思います。ご主人が命と引き換えに教えてくれた、一生懸命に生きよう!という思い、また利用者の方から教えてもらった人の優しさなどを、横石さんの子供さんはじめ多くの方々に福祉事業を通して伝え、頑張ってきた姿が私の目に浮かび、私も今夜はホロリと、「鬼の目にも涙」ならぬ、「仏の目にも涙」でした。すごい起業家が佐世保支部には居るな、自分も困難に負けずに頑張らなければと、自分にとって大変刺激となる例会でした。

(文責 村山 隆之)



北松浦支部 例会報告

日 時	3月20日(火) 午後7時
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	「社員教育といわれても…」 ～社員から教えられ人に感謝するだけと思うのです～
報 告 者	ニコット・サービス(有) 代表取締役 江口 陽一 会員(佐世保支部)



今月の報告者は佐世保支部支部長、ニコット・サービス(有)の江口陽一さんより経営者としての考え方や従業員に対しての接し方、人との出会いなど実体験を交えてお話しをしていただきました。

社名の由来をご自身の高校卒業後、独立への決心や先輩社長との出会いや人との信頼関係など独特な口調でユーモアを交えながら、経営者としてと言うよりも人として大切な事を学ばせていただきました。

なかでも『今のお客様を大切に』『小さなパイプが大きくなった時お客様からご紹介をいただく』『人命に関わる事は厳しく叱る』『社内運動会の夢』そして、

少年が行商を経て商人の心を知るまでを画いたてんびんの詩の印象的なお話をいただき、江口さんが熱く語る創業精神と社名由来の温かく、アットホームな会社環境をつくり会社経営をする原点は、『出来る人から学んだ謙虚な姿勢』を忘れることなく当たり前のよう実行しているからであるということに改めて感じました。

この度の例会は佐世保支部からもオブザーバーの方が多く参加していただきグループディスカッション後の質疑応答でも本音を語っていただき今回の例会も有意義な例会でした。

(文責 大村 謙吾)



五島支部 例会報告

日 時	3月18日(火) 午後6時30分
会 場	福江総合福祉保健センター 研修室
テ ー マ	「九州一の豆腐企業を目指して」
報 告 者	九一庵食品協業組合 代表理事 理事長 徳田 信義 会員(大村支部)



今月の五島支部例会は報告者に九一庵食品協業組合の徳田信義さんをお迎えして、「九州一の豆腐企業を目指して」と題して報告を行っていただきました。当時の様々な業界の動き、流れを考察した上で、実家のお豆腐屋さん・豆腐業界の将来を考えた時に、危機感を覚えた徳田さんは、今後生き残っていく企業はスケールメリットを活かせるような大きな規模になっていく必要があると思ったそうです。

そこで、当時行政が進めていた協業組合を作ろうと一念発起し、県内のお豆腐屋さんへ声をかけ、有志を集めようと奮闘しますが、やはり自分の商売を他人と一緒に展開していくという協業組合には理解は

得られず、仲間の確保が思うようにいかなかったそうです。それでもなんとか現在の九一庵を作って事業を始めたそうです。

しかし、最初は売上も見込みほどいかず、資金繰り面等苦労したそうですが、なんとか経営の危機も乗り越え現在に至るそうです。

行政関係者は九一庵を成功事例として紹介するらしいのですが、徳田さん曰くまだまだ成功を収めているわけではないので、これからももっと広く(地域)高い(売上)ところを目指していくと仰っていました。

徳田さんの報告を聞いて、なぜ宮田支部長が「五島支部の報告者に是非、徳田さんを！」と仰っていたのか、自分の地域だけではなく広い地域を視野に入れて事業を展開している徳田さんの姿勢を五島支部に伝えたかったからではないでしょうか。



徳田さんの報告には、将来を見据えての事業展開、会社・商売承継においての世代間の考えの違いを良い形で乗り越えていける企業が発展していくのではないかとということも含まれていたように思えます。
徳田さんは、まだまだこれから事業拡大を目指して

邁進していきたいと仰っていたので、九一庵が日一庵、世一庵になる日が来るのかも知れません。
その姿勢は是非とも見習いたいですね。

(文責 勝本 政裕)

中同協 2014 年度 第2回政策委員会 参加報告

長崎支部 出島地区会 西尾廣幸

3月25日、中同協の第2回政策委員会に出席しましたので報告します。

1. 2014年11月から2015年3月までの中同協・対外政策活動などの経過報告がありました。この間の特徴は、①日本政策金融公庫との関係が深くなった、②連合、単位労働組合から労使見解を広める依頼があった、③中小企業庁金融課との懇談、④憲章推進月間・キックオフ集会のスタートを切る、⑤中小企業憲章・条例ハンドブック(改定版)の発行などの活動を実施した。
2. 「経営者保証に関するガイドライン」への対応については、「個人保証制度見直しの背景について議論を踏まえ、以下の点を確認する。①ガイドラインに対する中同協の見解をまとめる、②ガイドラインの意義を会員に知らせ、学習・活用の運動に取り組むことを呼びかけていく、③金融機関との勉強会・懇談会などを開催することを呼びかけていく、④経営者保証のない融資を実現した会員の事例を集め、会の内外に発信することを呼びかける、⑤東京同友会から提案のあった「個人保証共済制度の創設」については、今後の検討事項とする」との報告がありました。
3. 6月の「中小企業憲章・条例推進月間」の取組

みについては、キックオフ集会を6月3日に衆議院第2議員会館1階多目的会議室で実施することとし、企画趣旨や議事について説明がありました。

4. 第44回全研(広島)の政策関連分科会のまとめについて報告がありました。また、第46回定時総会(新潟)の政策関連分科会の企画について報告がありました。

5. 「2015年度国の政策に対する中小企業家の要望・提言について説明がありました。また、①「2014年度国の政策に対する重点要望・提言」に関する政策動向と実現・評価事項、②小規模企業振興基本法案、小規模支援法案の制定についても説明がありました。

6. 各地同友会の政策活動報告と中小企業振興基本条例制定、地域活性化等の取り組みについての意見発表がありました。長崎同友会からは、①昨年12月19日に大村市の振興基本条例が制定されたこと、②長崎県において2015年2月に制定予定の「中小企業振興基本条例」を補完し確実な長崎県経済の浮揚を図るため、議員提案による「県産品等の地産地消の推進に関する条例」制定に向けての協議がなされており、同友会からも参考人として意見発表を行ったことを報告しました。

7. 以上の会議全般について、コメントがあり終了しました。

委員会活動一覧

3月15日(土)

<例会委員会> 参加者: 9名

・内容

1. 各支部・地区例会の2013年度の実施内容・課題・問題点について
2. 2014年度例会委員会の方針について
3. 各支部・地区例会の2014年度例会の展望について
4. 今後の事務的手続きについて(年度末更新等)

3月24日(月)

<情報広報委員会> 参加者: 4名

・内容

新旧委員の引き継ぎ、広報誌について協議。

4月新入会員 <入会>

支 部 名		佐世保支部		
氏 名		きったか ひでかず 橘高 秀和		
企 業 名		(株) 橘高		
役 職 名		専務取締役		
企 業 住 所		〒 857-1162 佐世保市卸本町 25-2		
T E L		0956-32-5301	F A X	0956-31-1031
企 業 P R		「佐世保が軍港として開設された明治 36 年に創業いたしました。現在は建築関連資材と産業機器関連の取り扱いをいたしております。 私どもはお客様に対して一貫して商品知識での貢献と心のふれあいを大事にして、お役に立てることを前提に営業活動をいたしております。 業界の専門商社として、すばやい情報と先端の商品を提供すべく努力してまいりますので、今後ともご愛顧をよろしく願います。」		
業 種		建築資材卸売業		
スポンサー		松尾 慶一		

事務局企業訪問 ～自分が思う経営者像とは～



「自分が思う経営者像とは、背伸びをせず、自分の能力を理解し、自分ができる事を行い、次の世代に繋げて行く」。1779年（安永8年）に創業し8代目となる白山陶器（株）・松尾慶一さんはそう語ります。1995年1月に代表取締役役に就任した当初、会社の売上、業績は悪かったそうです。自己啓発セミナーへの参加はもちろん中堅社員にもセミナー等にも参加していただくなど様々な取組みを行いましたがそれでも「何が悪いのかがわからない経営をしていた」、と当時を振り返りました。地元の間屋が商品の販売を行ってくれるため主な取引は間屋。しかしその間屋のスタイルが変化して行きます。間屋自体がメーカーに直接発注し利益率のいい商品をそろえ出したのです。今までは間屋から「白山のカタログをください」というスタイルが間屋に対し「白山のカタログを持ってきました」という変化に「市場に合わないものをつくっているのか」と頭を悩ませる日々。それでもつくって販売しないといけな。しかし注文がない、売り上げがない。周囲にはいつの間にか不渡り、倒産などの噂が出た時もあったと言います。

そんな中、松尾さんに転機が訪れます。1998年1月、ミラノで開催された国際見本市に訪欧。世界中から集まった陶器やバイヤーなど世界市場の大きさに圧倒され、今まで自分が小さいことに悩み過ぎていた、と目が覚めます。このいい意味での開き直りが白山陶器をまた大きく変えて行っただけです。元気になった松尾さんは日本に戻るとまずは現状の課題に着手して行きます。2割、3割とあった商品のロスを95%まで改善することを掲げ、成功して行きます。そして1999年1月に東京ドームで開催された東京テーブルフェスティバルに参加。この参加がまた一つ松尾さんに大きな自信と決断を生むのです。

9日間で延べ30万人が入場料を払って参加するこのフェスティバル。その30万人から直接、エンドユーザーの目で大衆審査を受けることになります。会場では来場者から「白山陶器は初めての出展ですね？」と何度も質問を受けます。不思議に思った松尾さんはな

ぜそのような質問をするのか問い返すと「去年まではこんないいものをみていないから」と言われたそうです。会場で評価をいただきそれまで間屋向けのカatalogをデザイン全て一新し一般のお客様向けに作成、その効果もあり雑貨屋やアパレル関係など今まで取引がなかった業界まで深く白山陶器の商品は浸透して行きました。

《デザインと共にある白山陶器近年の歴史》

グッドデザイン賞やロングライフデザイン賞など数々の賞を受けた白山陶器。その原点がデザイナー森正洋氏です。先代の社長は森氏を1956年に招聘し、以降40年間白山陶器は商品に「デザイン」の要素を取り入れ歩んで来ました。先代と森氏が築いたその歴史を継ぐ次世代のデザイナー達は日々松尾さんと新商品の開発に日夜取り組んでいます。グッドデザイン賞が制定された当時の選定基準は①素材の特性を活かす②機能性③造形美④独創性⑤量産に対し手頃な価格の5つ。松尾さんとデザイナーとのミーティングは自然にこの5つの基準をどのようにすれば満たすことができるのかという内容になりました。会社全体でグッドデザイン賞（Gマーク）に出品することが1つの確認作業であり、白山陶器の「ものづくり」の指針となっていたのです。



《災い転じて福となる》

「何事においても、全ては自分が行った結果。まずはやってみること。失敗でも次の教訓になる。おそれずチャレンジ」。愛用品である綴じこみ式のシステム手帳は10年以上前のもものしっかりと保管されています。当時の手帳を見ながら懐かしげに話す松尾さんの表情には、今までの苦労や迷い、失敗がまさに「転じて福となって」いるかのように優しい微笑みがありました。東京、大阪の直営店の様子も見ながら忙しい毎日を送っている松尾さん。これからもそのチャレンジ精神で白山陶器と長崎同友会を、そして長崎を牽引してくれることでしょう。

（文責 峰 圭太）

5月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 5月27日(火) 午後6時30分
会 場 ギャラリーヘキサ
テ ー マ 川の流れのまま、59年間。
報 告 者 (株)池田建築工業 代表取締役
池田 繁隆 会員

父親から事業を引き継いで10年になります。
特に方向性を決めることなくただがむしゃらに仕事をしてきました。同友会に入会して、長く幽霊会員でしたが、例会や委員会など、同友会活動に深く係わる中で、仲間にも刺激され、いろいろなことが見出せるようになりやっと、これまで学んだことを実践しなければと感じています。
会歴15年を迎え、これまでの振り返りと今後について報告させていただきます。

●長崎支部 出島地区会

日 時 5月22日(木) 午後6時30分
会 場 メルカ築町
テ ー マ 「例会出席率を高める為にどうしたらいいか？」
～私なら、こんなふうにやってみたい！～
各グループ長の10分プレゼン
報 告 者 (株)M・A・B 松田 学 会員
(有)こじま 浦川 公巳好 会員
(株)黒岩商事 大崎 悠史 会員
(有)錦自動車工業 飯田 義則 会員
(有)エス・ケイ・フーズ 中村 こそえ 会員
福井義憲税理士事務所 福井 義憲 会員

例会の参加率を上げる為に何をどうしたらいいか？
役員から押し付けられた決まり事でなく自分たちで決めた解決法で出来るか出来ないかではなくグループ長が理想や希望をプレゼン「私なら、こんなふうにやってみたい！」(10分×6人)
グループディスカッションでは「私達のグループ活動の決意」をテーマに自分たちが実行できるプランを検討して参加率の目標値も設定するグループでの具体的な活動と目標の発表

●大村支部

日 時 5月15日(木) 午後6時30分
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ 持続可能な社会に貢献する企業を目指して
クリーンエネルギーで事業展開
報 告 者 (株)チョープロ 代表取締役
荒木 健治 会員(長崎支部 浦上地区会)

チョープロは、LPガス事業を中心に、太陽光発電、メガソーラー事業など次世代エネルギーを含め「自然にやさしいエネルギー」をテーマに人々の暮らしを見据えた事業を行っています。
話題の長崎空港のメガソーラー事業やこれからのクリーンエネルギーについての新しい事業展開を含めた経営体験報告を予定しています。

●諫早支部

日 時 5月27日(火) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ 経営体験報告
会員は辞書の1ページです。第3弾
～当社はこんな仕事をこなしています。～
報 告 者 (株)未来 代表取締役
山崎 三郎 会員
(株)張本創研 代表取締役
張本 洋二 会員

自社の紹介を約30分ずつお二人の会員に報告頂きます。

●島原支部

日 時 5月15日(木) 午後7時
会 場 シーサイド島原
テ ー マ 経営体験報告
報 告 者 (株)ヤマダ 代表取締役
山田 崇生 会員

お父様が長年続けていた個人代理店事業。IT化が進む中で苦労を続ける父を助きたい想いから事業継承を決意。総合保険代理店業として法人化する際に山田氏が代表就任。お客様にとって最適で、無駄なく無理のない保険を提案する事を常とし、お客様からの『ありがとう』の一言のために日夜、島原半島全域を駆け回られています。今回は山田氏の保険代理店経営から得た学びと体験を報告させていただきます。

●佐世保支部

日 時 5月16日(金) 午後7時
会 場 佐世保市民会館
テ ー マ 未定
報 告 者 (有)しまばら 代表取締役
島原 一郎 会員

佐世保支部 新年度トップバッターの報告者は、(有)しまばらの島原さんです。島原さんは、セブンイレブン有福町店を運営されています。コンビニ経営の他にも新規事業を計画されているそうです。新年度のスタート、是非皆様ご参加いただきますようお願い致します！

●北松浦支部

日 時 5月22日(木)
会 場 トマトハウス
テ ー マ 酒の一斗「活動方針」
報 告 者 (有)酒の一斗 代表取締役
池野 晋一 会員

今回は新支部長になられました池野支部長による自社の活動方針を報告いただきます。

●五島支部

日 時 5月21日(水)
会 場 観光ビルはたなか
テ ー マ 支部総会 総会後、来賓を招いての記念講演
(担当総務委員会)
報 告 者 まちだ歯科クリニック 院長
町田 澄利 会員(長崎支部 出島地区会)

同友会(五島支部)の活動や考えを来賓(行政)に周知し、理解して頂くきっかけの場とする。

●青年経営者会

日 時 5月10日(土)
会 場 サンプリエール
内 容 総会

理事会報告

2014年4月理事会 議事録 抜粋

2014年4月8日(火) 18:00 プライム会議室

出席(敬称略) 21名 欠席(敬称略) 9名

※握手タイム

※諫早支部：故山田圭一さんに黙祷

協議・承認事項

1) 2014年度に向けて

① 第43回定時総会 4月19日(土) ホテルニュー長崎 15時

※参加200名目標に対する各支部の目標設定

	期 首	2013年度	目 標	現在登録数
長 崎	201	55	91	39
(浦 上)	115	31	52	24
(出 島)	86	24	39	15
大 村	57	12	23	10
諫 早	54	19	22	11
島 原	40	15	16	12
佐 世 保	99	14	35	13
北 松 浦	33	8	12	4
五 島	25		9	6
合 計	509	123	209	95

※たたき台：長崎支部＝会員数×45%、県央＝会員数×40%、県北・五島＝会員数×35%

※現在登録数は4月8日(火)15時現在。未回答が296名のため再度支部で参加促進を行う

※熊本女性経営者全国交流会キャラバン来崎予定。懇親会の冒頭に依頼予定

② 決算・予算案について

※福井監事からのご提案として

期末の差額調整金、拡大還元金など現状各支部で来期(次期)の予算計上もしくは今期計上と処理方法が異なっているようです。もしよければ統一事項として今期の決算に計上いただければと思いますが、今からそうするとお手間もかかると思いますので来期からそのような処理をいただくよう各支部検討をお願いします。

※政策委員会より

今期県の条例議会上程に向けて他県から有識者(他県同友会会員含む)をお招きする等活動する予定。お招きする際、都度理事会の承認を得て費用を捻出するとなるとタイムラグが生じる、もしくは旅券等の割引等が使えず逆に割高になるのではないかと？年間の活動予定としてあるので最初から委員会予算を増やしていただくことは可能かと？

→三役会でも検討したが、予算の枠組みの中に特別活動費という科目があるので、上記のような企画を開催する場合、早目に立案いただき理事会で承認していきたいと思っています。特別活動費を有効に利用いただく事を提案する代わりに、本部委員会費はそのままの予算計上でお願いします。

→政策委員会に関しては企画開催の具体的な立案を挙げていただき、理事会で協議する事を承認。

※長崎支部より、拡大還元金において、今回は両地区会ともプラスだから良かったが、マイナスの場合もある。現状、支部に一括して還元金の入金があるがマイナスの場合はそのマイナス分を差し引いた金額が入金されていると思う。長崎支部の場合、それぞれの地区会で目標設定をしているためその入金方法を検討していただきたい

→上記を受けて、理事会時は三役会で検討するという形で終わったが、事務局で確認したところ、拡大還元金でマイナスが発生した場合でもそのマイナス分の返金は求めていることがわかった。したがって予算関連資料の「活動費(案)」内で仮にマイナス表示があっても支部(地区会)に返金は求めている。ただし、マイナス表示があれば勘違いしてしまうためその表示方法を再度検討したいと思います。

2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

山領委員長総括

最近の理事会の中で退会、取下げ等が少し目立ちます。これはある意味増強デーの弊害でもあったかと危惧しています。基本的には強引なお誘いではなく、しっかりと納得して入会いただく事が大事だと思います。2014年度は浦上地区会も内部固めにはいると聞いています。増と強、内外に向けて発信していくことも必要です。2014年度は杉本仲間づくり委員長(予定者)が女性部設立も視野にいれていますのでぜひよろしくお願いします。1年間ありがとうございました。

(杉本仲間づくり委員長予定者より一言)

2014年度は女性部の発足を検討したいと思います。山領委員長が示してくれたルールに則った活動をもとに、全国の事例をみると女性部が活発な県はやはり伸びています。ぜひ皆様のお力をお借りしてがんばりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

中同協関係その他報告・連絡事項

1) 九州・沖縄ブロック事務局長会議参加報告ー峰

→峰から参加報告。各県の三位一体の状況を受けて長崎同友会でできることを模索。九州・沖縄ブロックの事務局体制一本化構想など報告。詳細は広報誌に掲載

2) 九州・沖縄ブロック支部長・支部活動研修交流会について

→バックプラン、早割等を駆使して各自最適なプランをお選びいただきぜひ参加をお願いします

3) 第17回 女性経営者全国交流会についてーパンフレット参照

→各支部3名のご参加をぜひ協力をお願いします

4) 第20回経営フォーラム収支(監査を受けて再提出)

→監査を受け、お祝いのお酒買取代を収入に計上し直して再提出

5) 「障害のある人もない人も共に生きる平和な長崎県づくり条例」推進委員依頼について

→中村こずえ障がい者問題研究会会長に内諾をいただいている

→理事会に報告し正式に依頼する

6) 理事会資料(委員長)報告フォーマット変更について

→昨年度第4次中期ビジョンが策定された事を受け、理事会資料内、各委員会報告にビジョンの記載とそれに伴うビジョンに対する今年度の取組み、進捗を記載し、理事会でも検証できるような報告とさせていただきます。各委員長はお手数ですがよろしくお願いします

7) 内規集について

→理事会決議事項ではあるが議案書等に記載がない内規に関しては、内規集を作成し事務局で保管する。何かわからないことがあれば事務局に尋ねる

8) 春闘共闘会議参加報告

→金井副代表より参加報告。経営者側、社員側からということではなく双方の立場を理解した上で意見交換を重ねて行こう、という趣旨。今後定期的な開催提案をいただいているので決まり次第お時間許す限り参加をお願いします

9) 全国大会誘致検討委員会について

→三役会を中心に引き続き検討中。次回理事会で進捗報告

10) 活動の手引き・名簿作成進捗状況

→手引きに関しては完成いただいているが、名簿を鋭意校正中。県の総会には間に合わない可能性が高いが支部総会までには完成させお配りする

11) 会費滞納者について

→滞納者について事務局より報告

12) その他

(新入会員の手続きに関して)

今までは入会後、初めての例会時に議案書をお渡ししていたが、今期からは事務局による入会手続きの際に議案書をお渡す。理由として入会金返金不可やその他同友会の規約、仕組み等を事前に説明、ご理解いただくため(産業労働部産業支援制度説明会について)

産業労働部より支援制度説明会の案内が届いた。各地域で開催場所が異なる為、申込は事務局に一括して行う。本業に密接にかかわる部分もあるかと思うのでe.doyu案内をご覧いただきぜひ参加されてみてはいかがでしょうか

決議事項

- ・定時総会、記念講演者宮崎さんお迎えについて、三役に一任
 - ・総会の受付について、長崎支部へ6名依頼する事を承認
 - ・総会当日の交通費について、例年通り島原・佐世保・北松浦を1,000円、大村・諫早を500円、五島は最大10名まで一人あたり5,000円とすることを承認
 - ・議長、司会、議事録署名人依頼について三役に一任
- ※ナイトマップは作成中
- ※各支部目標動員に向けてぜひ参加促進をお願いします
- ・第21回経営フォーラムについて、長崎支部出島地区会：山口憲男会員を実行委員長とすることを承認

- ・賀詞交歓会について、理事会時では三役に一任。その後三役で協議後、1月23日(金)で開催することを決定
- ・企業連携推進委員会について、委員長予定者内山会員の辞退により、2014年度は準備委員会とし、今後三役を中心に後任の人選を検討する事を承認
- ・議案書内、弔慰金について、前回内容に加えて「会員本人が喪主の場合」を追加する事を承認
- ・議案書内、旅費交通費規定について、事務局に関する記載事項を削除することを承認
- ・2013年度決算、2014年度予算案について、行の削除等一部修正することで承認

※理事会初参加

池野北松浦支部長予定者、吉澤経営・労務担当委員長予定者から一言ご挨拶

※2013年度で退任

濱田長崎支部長、江口佐世保支部長、町田貴経営フォーラム担当理事から一言ご挨拶

次回日程-2014年5月1日(木)19時～ つくば倶楽部

議案書の記載間違いのお詫び

- ①長崎支部 浦上地区会
木村 操 会員 (企業FAX) 正:095-821-0226
- ②長崎支部 出島地区会
土井 幸喜 会員 (企業FAX) 正:095-843-8215
- ③諫早支部
東村 久儀 会員 (企業FAX) 正:0957-20-9912
- ④諫早支部
濱田 博記 会員 正:濱田 博紀 会員
- ⑤佐世保支部
立山 公造 会員 (企業FAX) 正:0956-40-7711
- ⑥五島支部
宮崎 利津子 会員 正:宮崎 利津子 会員

たいへん申し訳ございませんでした

会員消息

会 員 数 (4月8日現在)

	長 崎	(浦上)	(出島)	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五島	合計
目 標	227	127	100	67	80	50	120	40	40	624
期 首	201	115	86	57	54	40	100	33	25	510

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会 員 名	支部・地区会名	入会年月
一ノ瀬工業	一ノ瀬 哲平	長 崎・浦 上	2013年12月
(有) バイクセンターみやもと	宮 本 裕 一	長 崎・浦 上	2010年 4月
(株) たらみ葬儀社	辻 浪 子	諫 早	2010年 4月
NGC 長崎龍	富 田 蔵 人	諫 早	2014年 1月
社会福祉法人 愛善会	藤 原 浩	諫 早	2013年 4月
(有) 松新	山 田 圭 一	諫 早	2004年 7月
(資) 内島材木店	内 島 範 喜	島 原	2006年 3月



訃 報

山田 圭一 会員
(諫早支部)

3月29日53才の若さでお亡くなりになりました。
心よご冥福をお祈り致します。

「県版活動の手引き・名簿」の作成に伴い、会員の皆様より多くの変更をいただいております。
つきましては、4月に配布いたします「県版活動の手引き・名簿」にて確認いただきますようお願いいたします。